

18 学校に病院ができた

自分のけんこうを守るために、どんなことができるのか考えよう。

多くの学校が避難所になり、たくさんの人たちが、いっしょに生活を始めました。きびしい寒さや、十分にえいようをとれない中、ぐあいの悪くなる人が出てきました。毎日のんでいたくすりがなくなってこまる人もいました。水道が使えないので、食事の時に手を洗うことができないなど、えい生面の心ばいもありました。そのために、いろいろなルールも決まりました。

そうした中、病院からお医者さんやかんごしさんが来て、病気の人たちをみてくれました。学校のほけん室や教室に、小さな病院ができました。



びょうき
〇病気になるために ～自分たちにできること～



て
手はいつもきれいにしましょう。

みなさんの手はいつもきれいにしておかないと、いろいろな病びょうき気になってしまいます。手をあらったあとは、しょうどくえきなどをつかって、きれいにしょうどくしましょう。

じぶん
自分ができそうなこと…



つか
トイレはいつもきれいに使つかいましょう。

トイレはみんながつかう場ばしょ所です。いつもきれいにしておくために、よごしてしまったら、きれいにそうじをしましょう。

じぶん
自分ができそうなこと…



かぜやインフルエンザのよぼうのために
マスクをしましょう。

避難所ひなんじょは、たくさんの人ひとが生活せいかつしています。かぜやインフルエンザなどの病びょうき気にかかってしまうと、一度いちどに多くおほの人ひとにうつっ

てしまうかもしれません。かぜなどがはやっているときは、たがいにマスクをつけて、病びょうき気がひろがらないようにしましょう。

じぶん
自分ができそうなこと…

 かんがあなたが考えたみんなせいかつで生活するときに気きを付つけることを書かきましょう。

